

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、会社法
教科書	「租税法入門上・下」福浦幾巳他(中央経済社)
補助教材等	プリント(演習問題)
学習上の留意点	
<p>講義は、輪読、プレゼンテーション方式で実施する。発表する学生は、毎回、パワーポイントを作成すること。学生は、毎回、授業に出席する際は、その回で学習する分野の事前学習をしておくこと。自分の発表担当以外の箇所もしっかりテキストを読み準備をしておくこと。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む進度もすこしゆっくりめに設定しています。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0 ガイダンス 1 税法の必要性 2 税法全体の流れ 3 法人税法	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・法人税制度の説明ができる。 ・税法の全体像を理解できる。 ・税法の必要性を理解できる。 ・税法の重要条文の内容を説明できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3			
4			
5	4 法人税法① 5 法人税法② 6 法人税法③	<ul style="list-style-type: none"> ・法人税の趣旨を説明できる ・法人税の事例 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
6			
7			
8	7 所得税法① 8 所得税法② 9 消費税	<ul style="list-style-type: none"> ・所得税の趣旨説明できる ・所得税の事例 ・消費税の趣旨説明できる ・消費税の事例 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
9			
10			
11			
12	10 判例① 11 判例② 12 演習	<ul style="list-style-type: none"> ・判例に親しむ。 ・判例を理解できる。 ・Excelで税法の計算、 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
13			
14			
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間